

ミドリオオガシラ

高 木や低木をすみかとするミドリオオガシラは、緑色で動きがゆったりとしているため、つる植物や葡萄植物と見分けがつきにくい。防御の中心は威嚇で、大きく口を開いて黒い口腔を見せつける。後牙類だが毒はあまり強くなく、人間に害を及ぼすことはない。

データ

種：ミドリオオガシラ
Boiga cyanea

科：ナミヘビ科

生息場所：森林。特に水辺。

繁殖：卵生。産卵数は10個に満たない。

採食：カエル、爬虫類、小型鳥類、小型哺乳類。

分布：東南アジア。



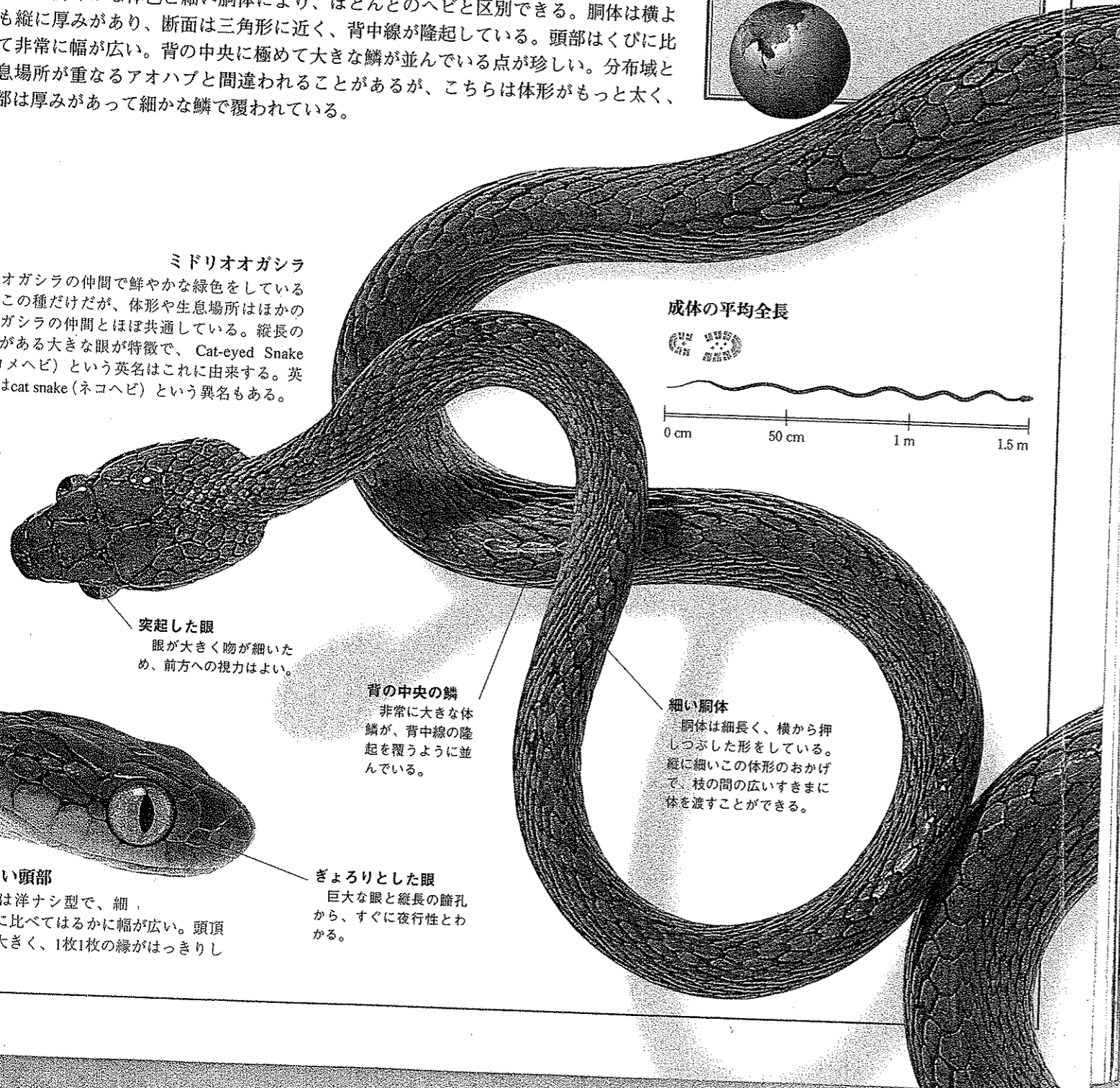
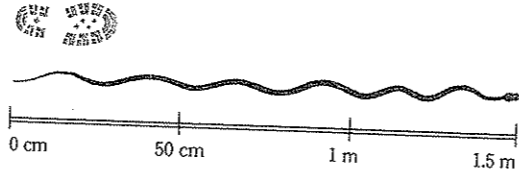
おもな特徴

緑色の鮮やかな体色と細い胴体により、ほとんどのヘビと区別できる。胴体は横よりも縦に厚みがあり、断面は三角形に近く、背中線が隆起している。頭部はくびりに比べて非常に幅が広い。背の中央に極めて大きな鱗が並んでいる点が珍しい。分布域と生息場所が重なるアオハブと間違われることがあるが、こちらは体形がもっと太く、頭部は厚みがあって細かな鱗で覆われている。

ミドリオオガシラ

オオガシラの仲間では鮮やかな緑色をしているのはこの種だけだが、体形や生息場所はほかのオオガシラの仲間とほぼ共通している。縦長の瞳孔がある大きな眼が特徴で、Cat-eyed Snake (ネコメヘビ) という英名はこれに由来する。英名にはcat snake (ネコヘビ) という異名もある。

成体の平均全長



突起した眼

眼が大きく物が細いため、前方への視力はよい。

背の中央の鱗

非常に大きな体鱗が、背中線の隆起を覆うように並んでいる。

細い胴体

胴体は細長く、横から押しつぶした形をしている。縦に細いこの体形のおかげで、枝の間の広いすきまに体を渡すことができる。

ぎよろりとした眼

巨大な眼と縦長の瞳孔から、すぐに夜行性とわかる。

幅の広い頭部

頭部は洋ナシ型で、細く、いくびりに比べてはるかに幅が広い。頭頂の鱗は大きく、1枚1枚の縁がはっきりしている。